

インバウンド 拡大時代の 観光防災を 考える。

7/17 金 13:00~15:00

お申込みはこちら



Zoom 開催
(URL 後日送付)
参加費：無料
定員：100 名

廣井 悠 氏

東京大学大学院
先端科学技術研究センター 教授

都市防災・減災まちづくりを専門とし、大都市における災害対策やレジリエンス、避難行動シミュレーションなどを研究。防災政策や都市計画分野でも幅広く活躍中。



入江 さやか 氏

松本大学 総合経営学部
観光ホスピタリティ学科 教授

地域防災や災害情報、観光と防災をテーマに研究。内閣府大規模地震防災対策推進検討会委員。地域に根差した防災教育・啓発活動にも従事。



■第一部 基調講演

インバウンドの多様化、宿泊施設の無人化が進む東京で災害が起きたその時、外国人ゲストや帰宅困難者とどう向き合えばよいのか、専門家とともに考えます。

■第二部 ディスカッション

観光業に求められる危機対応力とは何か。
参加者の質問を中心に、災害時対応のヒントを専門家とともに徹底考察します。

こんな人におすすめです。

- ✓ 東京特有の災害リスクや発災時の外国人対応を学びたい観光関連事業者
- ✓ 宿泊施設・観光施設・DMO・自治体などで安全対策を担当している方
- ✓ BCP（事業継続計画）を見直したい、またはこれから策定したい方

セミナーの3つの特徴

- 1 防災分野のエキスパートが東京の災害リスクについて集中講義。
- 2 質疑応答時間が十分にあるため有識者に色々質問可能。
- 3 東京都や東京観光財団の災害対応関連の取組や補助金について紹介。